

■ 主な沿革

昭和22年 5月 1日	川西村立清川小学校に併置校として発足
昭和26年 1月25日	清川小学校より新校舎に移転
昭和26年 4月 1日	太平中学校と統合
昭和26年 4月26日	清川中学校 P T A 発足
昭和32年 1月28日	自校給食実施
昭和32年 4月 2日	帯広市と併合 帯広市立清川中学校と改称
昭和32年11月 1日	開校10周年記念式典 校歌制定
昭和33年12月 1日	完全給食実施
昭和36年10月 6日	屋内体育館落成
昭和40年 8月12日	テニスコート完成
昭和42年 6月 4日	小・中学校合同運動会開催
昭和42年11月19日	開校20周年記念式典
昭和45年 7月25日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝
昭和46年10月10日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝
昭和50年 8月 6日	全道中体連ソフトボール大会出場
昭和52年 8月 7日	全道中体連ソフトボール大会出場
昭和52年10月27日	開校30周年記念式典
昭和55年 4月 1日	岩内中学校と統合
昭和55年12月24日	新校舎移転
平成 元年 7月 9日	中体連ソフトボール大会優勝
平成 元年 8月 6日	全道中体連ソフトボール大会優勝
平成 元年 8月18日	全国中体連ソフトボール大会出場
平成 2年 7月22日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝
平成 2年 8月 3日	全道中体連ソフトボール大会第3位
平成 8年 7月21日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝
平成 8年 8月 1日	全道中体連ソフトボール大会出場
平成 9年 7月20日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝
平成 9年 8月 1日	全道中体連ソフトボール大会出場
平成 9年11月30日	開校50周年記念式典・祝賀会
平成10年 7月19日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝
平成10年 7月31日	全道中体連ソフトボール大会出場
平成11年 7月18日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝 全道出場
平成12年 7月23日	全十勝中体連ソフトボール大会優勝 全道出場
平成14年10月27日	菊祭り出品開始
平成16年 1月 9日	全道中学校新人バドミントン大会出場
平成17年 9月10日	市秋季バドミントン大会優勝
平成28年 6月18日	全十勝小規模校バレーボール大会優勝
平成28年 7月17日	全十勝中体連野球大会優勝 全道出場

清川中学校は平成29年度に開校70周年を迎えます。記念式典・祝賀会は平成29年12月3日に予定されています。



帯広市立清川中学校

平成28年度

学校要覧

校歌

作詞・作曲 加納 利雄

一、平原の 真中の里の
四つの園 巣立ちてここに
集い来し 若きはらから
ポロシリの 高さを仰ぎ
戸蔭川 清きに習う
明け暮の はげみ 楽しや
清川の 二字をかざして
天翔る 平和の翼
おのが志し 「中」をかたどり
国民の 学びの道ぞ
新しき 日本の のぞみ

＜学校教育目標＞

心豊かで たくましい生徒

＜めざす生徒像＞

自ら学ぶ生徒

思いやりのある生徒

強くたくましい生徒

■生徒数	第1学年 男子3 女子4 計 7名
	第2学年 男子2 女子4 計 6名
	第3学年 男子3 女子9 計12名
■教職員数	校長 1 教頭 1 教諭 10 養護 1
	事務 1 校務 1 配膳 1 計16名
■通学区域	清川 / 太平 / 岩内 / 美栄

所在地 帯広市清川町西2線126番地

電話 0155-60-2055

Fax 0155-60-2083

メール kiyokjhs@bz04.plala.or.jp



■ 校下の概要

清川地区は帯広市中心部より約25Km南に位置する。高くそびえるポロシリ岳を望む広大な畑作地帯が広がる。じゃがいも、ビート、小麦などの農産物の生産が盛んな地区である。自然豊かなこの地では、かつて大雨、豪雨による自然災害、農業被害に悩まされることが度重なった。先人たちの苦勞と努力により農地改善が施され、地域を流れる“清川”の河川整備が行われた。河川の形状を整え、明渠、暗渠といった排水機能を整備することで、現在のような大農業地帯へと発展した。

■ 平成 28 年度 清川中学校の学校経営方針

高度情報化時代、少子高齢化社会に移行しつつある現在、変化の激しい時代・社会に柔軟に対応できる資質・能力が求められています。そのため、学校は基礎基本の確実な定着を図る学習指導、思いやりや規範意識を高める道徳指導、そして生活の基礎となる体力向上の指導など「知・徳・体」のバランスの取れた教育活動を展開していかなければなりません。本校は小規模・少人数であることを活かした教育活動を推進し、個々のニーズに対応したきめ細かな学習指導と特色ある教育活動に努めてまいります。

教育目標：心豊かで、たくましい生徒

めざす生徒像：自ら学ぶ生徒 思いやりのある生徒 強くたくましい生徒

■ 本年度の学校経営の重点

① 確かな学力の向上（授業改善、学びの質の向上）

■ 自ら学ぶ意欲を育て、基礎基本の確実な定着を図る学習指導の充実に努める。

- ・学習習慣の確立と学習意欲を育てる指導法の工夫
- ・基礎基本の定着を図る指導方法と観点を明確にした評価の工夫
- ・生徒ひとりひとりに応じた指導法の工夫
- ・全学年で取り組む家庭学習の習慣化と小・中連携の推進

② 豊かな心の育成（道徳教育の充実）

■ 道徳的実践力や道徳的実践を育む話し合いや体験の充実に努める。

- ・日々の生活の在り方を考える授業の工夫・改善
- ・学年に応じた道徳の授業の充実
- ・私たちの道徳、副読本等の活用

③ 体力・運動能力の向上（生活リズムの改善）

■ 自他の生命を尊重し進んで健康安全に心がける態度を育てる指導の充実に努める。

- ・授業や部活動を通じた体力づくり
- ・食育の推進と望ましい生活習慣の定着

④ 一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導体制の充実（特別支援教育の視点）

■ 生徒個々の教育的ニーズを把握し、学校全体で教育的支援を行う。

- ・特別支援教育の体制づくりと具体的な実践
- ・個別の指導計画の作成と全校体制での効果的な支援の推進

■ 研究主題

「確かな学力を身につけ、意欲的に学ぶ生徒の育成」

～問題解決的な学習における指導方法の工夫と適切な支援を通して～

■ 主題設定の理由

全国学力・学習状況調査の結果において、どの教科も全国平均より高く無回答はほぼなかった。生徒質問紙の結果からも家庭学習習慣は定着しており、授業においても学習に対する意欲は高いことがうかがえる。また、落ち着いた家庭生活を送り、自己有用感も高く、将来社会に貢献したいなど青年らしい希望を持っている生徒がほとんどである。どの項目もよい結果が出ているが、

- ・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している。
- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。
- ・生徒間の話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。

の3点の項目が低いことが気になるところである。生徒数が少なく、お互いの気持ちを思いやって物事を進めていることを考慮に入れても、自己主張の弱さを否めないのが現状である。そこで、問題解決的な学習（アクティブ・ラーニング）を取り入れ、自己の考えを整理し、表現する機会を多くすることで、学習内容の定着を図るとともに、前述の課題を克服し、全人的な生徒の力を伸ばしていきたい。



（教育実習生とともに）

■ 生徒数の変遷

昭和22年	98名	昭和40年	154名	昭和58年	32名	平成13年	27名
昭和23年	114名	昭和41年	135名	昭和59年	30名	平成14年	30名
昭和24年	134名	昭和42年	141名	昭和60年	43名	平成15年	23名
昭和25年	137名	昭和43年	118名	昭和61年	46名	平成16年	23名
昭和26年	206名	昭和44年	115名	昭和62年	51名	平成17年	19名
昭和27年	189名	昭和45年	102名	昭和63年	45名	平成18年	23名
昭和28年	186名	昭和46年	83名	平成元年	46名	平成19年	30名
昭和29年	174名	昭和47年	86名	平成2年	45名	平成20年	30名
昭和30年	186名	昭和48年	71名	平成3年	44名	平成21年	31名
昭和31年	188名	昭和49年	71名	平成4年	42名	平成22年	26名
昭和32年	166名	昭和50年	66名	平成5年	37名	平成23年	29名
昭和33年	192名	昭和51年	62名	平成6年	40名	平成24年	27名
昭和34年	156名	昭和52年	59名	平成7年	40名	平成25年	26名
昭和35年	174名	昭和53年	47名	平成8年	51名	平成26年	28名
昭和36年	193名	昭和54年	49名	平成9年	48名	平成27年	25名
昭和37年	187名	昭和55年	47名	平成10年	53名	平成28年	25名
昭和38年	188名	昭和56年	51名	平成11年	43名		
昭和39年	172名	昭和57年	39名	平成12年	37名		